

長岡の観光地としての可能性を探る



— 地域の魅力を再発見し、観光消費につなげるには —

新型コロナウイルスの感染拡大で停止していたインバウンド（訪日外国人観光客）の受け入れが再開されました。今まで重要な指標としていた入り込み客数に加えて、これからはいかに稼ぐことが出来るかについても考えていくことが大切です。地域の魅力を再発見し、観光消費につなげるためにはどうすればよいのか。この機会に考えてみませんか。



第1部 基調報告

「長岡へのインバウンドの新たな視点」



日時 2022年11月24日(木)
14:00~16:30

○講演者

村越 真紀

長岡大学 准教授

【申込締切日】11月21日(月)



定員 60名(先着)

第2部 パネルディスカッション

「長岡の観光地としての可能性を探る」



参加費 無料

○パネリスト

大羽 昭仁 氏

株式会社未来づくりカンパニー 代表取締役

近藤 政幸 氏

新潟経営大学 経営情報学部 特任教授

高野 徹也 氏

長岡市 観光・交流部 観光企画課 課長



会場 パストラル長岡
(5階 扇の間)
長岡市今朝白2-7-25

○コーディネーター

村越 真紀

長岡大学 准教授

【シンポジウム当日のお願い】

- ご参加の際は、マスクの着用をお願いします。
- 37.5℃以上の発熱がある場合は、ご参加をお控えください。
ご参加中に体調が悪くなった場合は無理せず、会場スタッフにお申し出ください。
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催を中止させていただく場合がございます。



【お申込方法】 ホームページ・E-mail・FAX・TELにてお申込ください。

【お問合せ先】 〒940-0828 長岡市御山町80-8 長岡大学地域連携研究センター

TEL:0258-39-1600(代) / FAX:0258-39-9566

E-mail:chiken@nagaokauniv.ac.jp

URL:<https://www.nagaokauniv.ac.jp/research/>

お申込みから
も
→
お申込み可能
です



長岡の観光地としての可能性を探る



大羽 昭仁 (おおば あきひと)

株式会社未来づくりカンパニー 代表取締役
農水省「食・かけるプロジェクト」委員

1962年愛知県田原市生まれ。名古屋大学卒業後、1985年株式会社博報堂入社。2018年3月博報堂を退社し、2018年6月に株式会社未来づくりカンパニー設立。「地域活性化」「健康」「文化・アート」「観光」「環境」「防災」等々をテーマに、課題先進国と言われる日本の社会課題の解決につながる全国各地のプロジェクトに参画。

著書：『地域が稼ぐ観光』（宣伝会議、2018年）



近藤 政幸 (こんどう まさゆき)

新潟経営大学経営情報学部 特任教授
日本観光研究学会会員

同志社大学文学部卒業、大阪市立大学大学院創造都市研究科修了修士。近畿日本ツーリスト株式会社、公益財団法人わかやま産業振興財団を経て、2017年より現職。2014年、全国旅行業協会全国大会にて『地旅大賞特別賞（着地型観光商品コンテスト）』を受賞。

著書：『これでわかる！着地型観光』（共著、学芸出版、2008年）、
『着地型観光の経営的条件、DMO/DMCに至る地域産業複合体のバリューチェーン』（単著、大阪公立大学出版会、2018年）他

高野 徹也 (たかの てつや)

長岡市 観光・交流部 観光企画課 課長

1991（平成3）年4月、長岡市役所入所。
企画、福祉、財務等の部門を経て、2021（令和3）年4月より現職。

村越 真紀 (むらこしまき)

長岡大学 准教授

新潟大学大学院現代社会文化研究科満期退学。南臺科技大學語言中心約聘講師（2004年2月～2017年9月）、南臺科技大學應用日語系専任講師（2017年10月～2020年1月）を経て、2020年4月より現職。留学生科目（日本語、日本事情）、ゼミⅠ、ゼミⅡ担当。

----- 切り取らず、このままFAXしてください -----

F A X 申 込 書

| | | | |
|--------|--|-------|--|
| 氏 名 | | 会社名 | |
| 住 所 | | | |
| 電話番号 | | F A X | |
| E-mail | | | |

